

## 事業実績シート

### 1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体) 事業名	移住定住環境整備事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	平戸市	総務部 地域協働課	内野 愛子	0950-22-4111
事業期間	開始年	平成 27 年 4 月 1 日 (3年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[ ]			
実施期間	(開始日) 平成 30 年 4 月 1 日 (完了日) 平成 31 年 3 月 25 日			
委託した場合の 委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 <small>※住民視点を踏まえて記載してください。</small>	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平戸市にUターンを希望する方</li> <li>・平戸市での生活に興味がある方</li> </ul>	本市に移住・定住しようとする者を対象に、移住費用についての支援を行い、受け入れ体制を整え、平戸市における少子高齢化及び人口流出等による人口の減少を抑制する。		
助成事業の具体的な内容 <small>※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。</small>	<b>【メニュー：移住定住環境整備事業補助金うち移住費用支援事業】</b> 本市の重点施策のひとつ「移住定住」を促進するため、本市へ移住した新規転入者および市内在住者の住宅取得費、新規転入者の移住費用や中古住宅の改修等に対し、補助を行う。 上記補助金のうち、移住費用支援事業分は、新規転入者が定住を目的として市外から本市に移住した者に対し、移住する際に生じる荷物運搬料及び交通費（有料道路代、燃料費等）を補助対象経費として、3分の2以内で 20 万円を限度として補助金を交付する。			
	(事業開始の背景)	平戸市も全国の過疎地同様、少子高齢化及び人口流出による人口減少が急速に進んでいるため、平成 26 年度に平戸市人口減少対策本部を設置し、平成 27 年度から人口減少抑制対策に積極的に取り組んでいる。		
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	<b>(経緯・現状)</b> 経緯：上記同様 現状：当該補助制度を設置したことを見たところ、いくつかの移住関連支援策を平成 27 年度から設置したことにより、ここ数年の移住者数は年々増加傾向にある。しかしながら、人口の自然減のカバーには到底至らず、引き続き移住・定住促進のための策を講じる必要がある。			

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果（活動）指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した		移住促進のための補助制度や空き家バンク制度など、移住に係る取組みが本格化して4年目となり、外部に発信してきたこれらの移住希望者に向けた支援制度が呼び水にもなったほか、組織体制の強化等によりIターン者が増えた。
	<input type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った		
	(2) 成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
効率性の点検	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		移住・定住者向けに補助制度や“空き家バンク”制度等の支援策について情報発信に努める一方、“住まい”についても、空き家バンク登録物件の増加や市内不動産業者との連携により受入の体制を強化する必要がある。 実際には、本市に移住したくても、条件に合う物件がなかなか見つからないのが現状であるため、よりマッチングが図れるよう空き家バンク登録物件数を増やしていく事が課題である。そのため、移住・定住を促進する一方、空き家所有者側へのアプローチにも努めていく。
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能		人口増加に関する事業がない。	
<input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能			
<input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的な内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある		現状ではこの事業の民間委託化や非常勤化等にメリットを見出せない。移住相談・空き家情報提供・移住関連支援すべてを行うことで、切れ目のないサポートや移住者の把握につながっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み		地域間競争もあり受益者負担の見直しは難しい。	
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能			
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難			

### 5 今後の方向性

必要性の点検から  実施（予定）時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から  実施予定期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下		<input type="checkbox"/> サービス水準向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から  実施予定期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的な内容		<p>今後も継続して移住・定住者向けの新たな補助制度や“空き家バンク”制度の更なる周知・情報発信に努める一方、“空き家バンク”的良好物件登録件数の拡大に努めていく。</p> <p>また、移住希望者に対し情報提供・定期的な相談・案内等をきめ細やかに行い、移住希望者の不安解消あるいは移住希望者と担当者との信頼関係の構築に努め、移住に繋げていく。</p> <p>なお、Iターンとなる移住希望者については、本市を事前に訪れた際に、相談者に応じた先輩移住者を紹介し、移住に係る参考意見を聞く機会を与えるだけでなく、移住する前の人との繋がりを事前に作ることで、移住しやすい環境を整えていくことに寄与する。</p>			